

「銃砲史研究」目録 (359号～362号)

No.	号数	年月	著者	題目	ページ	備考
	359	H20. 3		銃砲史研究の寄稿要領	01～02	
875	359	H20. 3	工藤 雄一郎	「江川文庫総合調査」と確認された砲術関係資料	03～10	伊豆韮山・沼津地方例会特集
876	359	H20. 3	梶原 利夫	江川文庫の残存施条機	11～13	
877	359	H20. 3	樋口 雄彦	沼津藩の高島流砲術導入と軍制改革	14～21	
878	359	H20. 3	峯田 元治	伊豆韮山・沼津地方例会見学会報告	22～26	
	359	H20. 3		2月例会 (特別展)所 荘吉—コレクションと西洋兵学—の講演	27	
879	359	H20. 3	宇田川 武久	銃砲史研究の回顧と展望—所荘吉氏の研究の業績—	28～36	
880	359	H20. 3	折原 繁	幕末日本製の「腰差短銃」について	37～50	
881	359	H20. 3	峯田 元治	資料紹介 佐々木 稔編『火縄銃の伝来と技術』	51	
882	359	H20. 3	伊川 健二	資料紹介『大航海時代の東アジア—日欧通交の歴史的前提—』	52	
883	359	H20. 3	今津 浩一	資料紹介「ペリー提督の機密報告書」の紹介	53	
884	359	H20. 3	岡崎 清	長浜城歴史博物館特別企画「火縄銃の歴史と国友鍛冶の技術」を見学して	55～61	
885	359	H20. 3	学会広報係	ペリー&ハリス ～太平の眠りを覚ました男たち～	62～63	展示会紹介
	360	H20. 8		日本銃砲史学会会則	3～4	
886	360	H20. 8	中原 正二	日本銃砲史学会再活性化のために	5	
887	360	H20. 8	磯村 照明	日本銃砲史学会の会計の独立採算制の採用	6～7	
888	360	H20. 8	山田 太郎	日本銃砲史学会創立当時の思い出とこれからの展望	8～9	
889	360	H20. 8	峯田 元治	12ポンド・ポート砲車の数値的検証 韮山の砲車はペリー贈のポート砲車である	10～15	
890	360	H20. 8	磯村 照明	『歴史群像』の構成・編集にかかわって	16～22	
891	360	H20. 8	須川 薫雄	日本への機関銃導入と開発	23～28	

No.	号数	年月	著者	題目	ページ	備考
892	360	H20. 8	峯田 元治	検証『田付流鉄砲のネジ』その一例	29～37	
893	360	H20. 8	峯田 元治 中江 秀雄 安井 純一	火縄銃、尾栓(雄ネジ)の調査	39～40	
894	360	H20. 8	須川 薫雄	資料紹介 日本の武器・兵器—火縄銃から機関銃までの4部作について	41	
895	360	H20. 8	小高 正稔	資料紹介 海軍装甲技術史 戦艦富士・三笠から大和まで 寺西英之 慶友社	42	
	360	H20. 8		第6回日本銃砲史学会総会報告	43～48	
896	361	H20. 11	峯田 元治	普門院の大砲と分析	3～7	
897	361	H20. 11	中江 秀雄	大宮普門院の鑄鉄製大砲の化学組成と分析試料採取法	8～9	
898	361	H20. 11	中原 正二	横須賀重砲兵連隊	10～24	
899	361	H20. 11	須川 薫雄	三十年式装具と日露戦争	25～28	
900	361	H20. 11	伊川 健二	鉄砲伝来の史料と論点(上)	29～55	
901	361	H20. 11	峯田 元治 安田 修 小笠原 信夫	大垣藩田付家生国控と六代目の鉄砲	56～65	
902	361	H20. 11	鈴木 輝彦	資料紹介 中原正二著「火薬学概論」	66	
903	362	H21. 3	峯田 元治 中江 秀雄	永瀬家の大筒の周辺から	3～8	
904	362	H21. 3	中江 秀雄 安井 純一	永瀬家の鑄鉄製大筒の黒鉛組織	9～10	
905	362	H21. 3	伊川 健二	鉄砲伝来の史料と論点(下)	11～33	
906	362	H21. 3	小西 雅徳	清国カルロン砲の由来とその性格について	34～37	
907	362	H21. 3	峯田 元治	清国カルロン砲の鑄造技術	38～44	
908	362	H21. 3	須川 薫雄	火縄銃と火打石銃の実用性比較	45～49	
909	362	H21. 3	川口 静夫	火蓋の鑄造について	50～57	
910	362	H21. 3	峯田 元治	第4回地方例会 自衛隊武器学校、予科練記念館、野田市民館 火縄銃と管打ち・縁打ち銃の見学	58～59	隊武器学校、野田市民館見学
911	362	H21. 3	須川 薫雄	陸上自衛隊武器学校技術資料館展示	60～76	
912	362	H21. 3	青木 健	土浦藩の鉄砲塚について	77～82	